

報道各位

NO. 18- 000022DG

2018 年 5 月 28 日

ダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社

【Daijob.com 英語習得に関するアンケート調査】
最も役立った方法 「海外留学および長期滞在」は半年間を境に最多に
～現役バイリンガルビジネスパーソンが回答～

ヒューマンホールディングス株式会社の事業子会社で、バイリンガルのための転職・求人情報サイト Daijob.com を展開するダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:篠原 裕二、以下 Daijob)は、英語力がビジネスレベル以上(TOEIC スコア 735 点以上)の日本人ビジネスパーソン 300 人に対して、「英語の習得に関するアンケート調査」を実施しました。それによると、最も役立った学習として「海外留学および長期滞在」を挙げた人は、その期間が半年間未満だと 2%にとどまった一方、半年間以上になると最多となること分かりました。また、「友人・パートナー」の存在が英語力向上に一役買っているとの結果も出ました。

◆はじめに

日本のグローバル化が進む昨今、日本人の英語力の向上が大きな課題となっています。義務教育での授業、英会話スクール、各種教材・アプリなど、日本人は他国と比較して多くの学習機会がありながらも、その英語力は、世界およびアジア諸国の中で未だ低い位置にランキングされています。また TOEIC や英語検定等で高いスコアをマークしても、実際にビジネスでストレスなく活用できる英語力が得られるとは限りません。

そこで Daijob では、「ビジネスで活かせる英語力はどうすれば身につくのか」という疑問を明らかにすべく、英語力を武器に活躍しているビジネスパーソンに対し、アンケート調査を実施しました。

【調査結果のポイント】

- ✓最も役に立った英語学習方法は、海外滞在経験が半年間未満なら「英会話スクール」、半年間以上なら「海外留学および長期滞在」に
- ✓英語を学ぶ意識面で最も重要なのは「学ぶスタンス」
- ✓英語を習得して得られたメリットは、「仕事の選択肢が増えた」が最多

◆調査概要

調査期間: 2018 年 4 月 11 日(水)～ 4 月 15 日(日)

調査対象条件:

- ・日本国籍の者
- ・日本語力ネイティブレベルかつ英語力ビジネスレベル以上(TOEIC スコア 735 点以上)を有する者
- ・ビジネス経験がある者

有効回答数: 300 名

調査方法: 「Daijob.com」を通じたインターネット調査

調査主体: ダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社

◆調査結果サマリー

■最も役立った英語学習は「海外留学および長期滞在」、次いで「友人・パートナー」も

最も役立った英語学習の手段を尋ねたところ、「海外留学および長期滞在」が最も多い 58.3%を占めました。次いで「友人、パートナー」が 7.0%、以下、「英語教材」「小学校・中学校・高校」が共に 5.0%と続いています。英会話スクールや、オンライン英会話サービスを挙げた人はそれぞれ、3.7%、2.0%にとどまりました。

これを、海外留学・滞在期間別にみると、半年間未満の場合、「英会話スクール」「英語教材」(共に 14.9%)が最も多く、「海外留学および長期滞在」は 2.1%にとどまりました。一方、半年間以上 1 年未満滞在した場合、「海外留学および長期滞在」は 41.4%で最も有効な手段へと伸長、1 年以上の場合も同様の傾向が見られ、半年間を境に海外留学・滞在の効果が顕著に表れることが分かりました。

図1 最も役立った英語習得方法

英語習得方法	全体 (n=300)	半年未満 (n=47)	1年未満 (n=29)	2年未満 (n=24)	2年以上 (n=194)
海外留学および長期滞在	58.3%	2.1%	41.4%	70.8%	74.2%
友人、パートナー	7.0%	12.8%	3.4%	0.0%	7.2%
英語教材	5.0%	14.9%	3.4%	4.2%	2.1%
小学校・中学校・高校	5.0%	6.4%	17.2%	0.0%	3.6%
映画ドラマ	4.0%	10.6%	3.4%	4.2%	2.6%
英会話スクール	3.7%	14.9%	0.0%	4.2%	1.0%
大学	3.7%	6.4%	3.4%	8.3%	2.6%
TVラジオ	3.3%	8.5%	10.3%	0.0%	1.0%
書籍	2.7%	6.4%	3.4%	0.0%	2.1%
オンライン英会話	2.0%	6.4%	3.4%	0.0%	1.0%
アプリ	1.7%	0.0%	3.4%	4.2%	1.0%
その他	3.7%	10.6%	6.9%	4.2%	1.5%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■「英会話スクールが最も役立った」は 2 年以上通った人が圧倒的

最も役立った学習手段として「英会話スクール」を挙げた人の利用期間を見てみると、2 年以上が 81.8%を占め、2 年未満の人は 18.2%にとどまりました。また「オンライン英会話」を挙げた人でも、半数が 2 年以上と答えました。

図2 最も英会話スクールが役に立った人の利用期間
(英語習得のために最も役立ったもので
英会話スクールを選んだ人) (n=11)

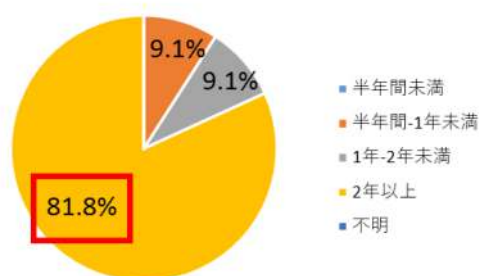
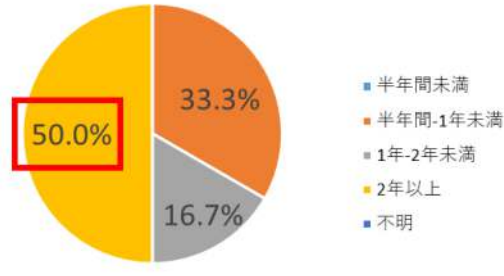


図3 最もオンライン英会話が役に立った人の利用期間
(英語習得のために最も役立ったもので
オンライン英会話を選んだ人) (n=6)



■英会話スクールおよびオンライン英会話の利用ブランドランキング Top.5

英会話スクールやオンライン英会話スクールを利用したことがあるかを尋ねたところ、英会話スクールには 54.0%に当たる 162 人が、オンライン英会話スクールには 20.3%に当たる 61 人が利用したことがあると回答しました。

どの英会話スクール、オンライン英会話スクールを利用したかを複数回答で尋ねたところ、英会話スクールでは「Berlitz」が 14.8%、オンライン英会話スクールでは「DMM 英会話」が 19.7%で、それぞれ最多となりました。

図4 英会話スクール 利用したブランドTop.5 (n=162)/複数回答

順位	スクール名	全体シェア
1位	Berlitz	14.8%
2位	(非公表)	13.6%
3位	ECC外語学院	13.0%
4位	英会話イーオン	11.7%
5位	Gabaマンツーマン英会話	4.9%
5位	(非公表)	4.9%

図5 オンライン英会話 利用したブランドTop.5 (n=61)/複数回答

順位	スクール名	全体シェア
1位	DMM英会話	19.7%
2位	レアジョブ英会話	16.4%
3位	アルクオンライン英会話	9.8%
3位	QQ Englishオンライン英会話	9.8%
5位	Bizmates	8.2%

■英語学習、「継続は力なり」

英語を習得するための重要なポイントを挙げてもらったところ、「学ぶスタンス」を挙げる回答が多く寄せられました。特に、「継続すること」、「失敗することを恐れずに積極的に行動すること」が必要であることがうかがえます。

図6 現役バイリンガルビジネスパーソンが答えた 英語習得のためのポイント (n=223)

カテゴリー	カテゴリーシェア	習得のポイント	%
学ぶ動機	19.7%	必然性や具体的な目的などの機会を得る事	8.5%
		趣味、興味、欲求がきっかけで英語が好きになること	11.2%
学ぶスタンス	43.9%	継続すること(忍耐&モチベーション維持)	30.0%
		失敗を恐れず、恥ずかしがらず積極的に行動できること	13.9%
習得の素質	7.6%	コミュニケーション能力の土台が必要	5.4%
		異文化の理解が必要	2.2%
学習方法	28.7%	とにかく使う。英語は量が重要	10.3%
		英語を話さざるを得ない環境を得る(海外でも国内でも)	9.4%
		目標設定と集中学習時間の確保	4.9%
		文法等基礎学力を学ぶことが重要	4.0%

* シェア: アンケートのフリーコメントをセグメント分けし、各セグメントを全体数で割った割合

■4人に3人は「英語習得で仕事の選択肢増えた」

英語を習得して受けた恩恵について尋ねたところ、「仕事の選択肢が増えた」と答えた人が、4人に3人に当たる75.0%に上りました。また、「年収がアップした」と答えた割合は全体で33.3%に留まりましたが、職種別では大きな差が生じました。「エグゼクティブ/経営」では84.6%は年収がアップしたと回答しましたが、「ホテル/レジャー/外食系/旅行」では、全員が「活動範囲が広がった」と答えた一方、「年収がアップした」は一人もおらず、「メリットを感じない」と回答した人が20.0%と全17職種中で最も高い割合となりました。

図7 職種別 英語を習得したことによるメリット (n=300)

職種	年収がアップした	仕事の選択肢が増えた	知り合いが増えた	活動範囲が広がった	プライベートが充実した	メリットは感じない
エグゼクティブ/経営	84.6%	84.6%	38.5%	46.2%	7.7%	0.0%
コンサルティング	35.3%	58.8%	41.2%	82.4%	35.3%	5.9%
マーケティング/PR	35.7%	71.4%	35.7%	42.9%	35.7%	14.3%
金融・資産運用	38.5%	92.3%	46.2%	53.8%	38.5%	0.0%
医療・福祉・バイオ	50.0%	60.0%	50.0%	70.0%	20.0%	10.0%
クリエイティブ	33.3%	44.4%	44.4%	66.7%	44.4%	0.0%
営業	37.5%	87.5%	45.8%	45.8%	41.7%	0.0%
カスタマサービス	16.7%	50.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%
ホテル/レジャー/外食系/旅行	0.0%	80.0%	40.0%	100.0%	40.0%	20.0%
流通・小売/消費財/ファッション	33.3%	66.7%	44.4%	55.6%	33.3%	0.0%
教育/トレーニング/語学系	17.9%	78.6%	50.0%	46.4%	35.7%	0.0%
官公庁/団体/その他職種	25.0%	66.7%	50.0%	66.7%	33.3%	8.3%
IT技術系	31.8%	81.8%	45.5%	36.4%	36.4%	4.5%
機械・電気・建築・プラント	38.5%	92.3%	46.2%	69.2%	38.5%	0.0%
財務/会計	50.0%	100.0%	70.0%	60.0%	20.0%	0.0%
総務/人事/法務	47.1%	76.5%	29.4%	58.8%	17.6%	0.0%
事務職	28.9%	78.9%	44.7%	57.9%	31.6%	5.3%
無記名	20.0%	62.5%	32.5%	50.0%	35.0%	7.5%
合計	33.3%	75.0%	43.0%	55.7%	32.7%	4.0%

◆アンケート調査結果を受けて

今日の日本ではグローバル人材の育成が掲げられ、義務教育や大学教育でも英語学習に注目が集まっています。また、本調査では、英語を習得して「仕事の選択肢が増えた」という意見が多く挙げられました。それゆえ「グローバルで活躍したい人材に、より最適なポジションを」という理念を掲げる私たち Daijob にとって、英語学習の促進は今後もより重要な取り組みとなります。転職支援で求職者のチャレンジを後押しすることはもちろん、英語学習の分野でも求職者のサポートにも積極的に取り組んでまいります。

会社概要

ダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社

●代表者 : 代表取締役 篠原 裕二 ●所在地 : 東京都港区赤坂1丁目7番1号 赤坂複合ビル 5F

●事業内容: バイリンガルに特化した就職・転職の求人広告事業、人材紹介事業、イベント事業

●資本金 : 1,000 万円 ●ホームページ URL : <https://corp.daijob.com/> ●運営サイト : <https://www.daijob.com>

■本キャンペーンに関するお問い合わせ■

ダイジョブ・グローバルリクルーティング株式会社 事業推進室 福地
TEL : 03-6682-5443 FAX : 03-6682-5485 Email : info@daijob.com

■本件に関するお問い合わせ■

ヒューマングループ 広報担当 土屋
TEL : 03-6846-8002 FAX : 03-6846-1220 Email : kouhou@athuman.com